

お知らせ

◆遠藤周作の本(英訳)

ヴァン・C・ゲッセル氏による
新訳短編集

PORTRAITS OF A MOTHER
SHUSAKU ENDO

Yale university
amazon で購入可能。

ペーパーバック 2,871円
Kindle版 2,785円

収録作品 Mothers (母なるもの)
A Six-Day Trip (六日間の旅行)
Spring in Galilee (ガリラヤの春)
A Fairy Tale(童話) Shadows(影法師) Confronting the Shadows (影に対し)

※本書には、数年前に初めて公表された〈母〉をめぐる短編「影に対して」(海外初訳)が収録されています。

◆遠藤周作・関連作品

遠藤周作の生涯と文学

—— 神学と文学の接点から見る

兼子盾夫 著

教文館 3月30日刊行
定価 3,600円＋税

キリスト教作家・遠藤周作の神髄に迫るための必読書。山根道公氏推薦。

◆遠藤文学をテーマにした作品

もう一つの『沈黙』

—— 小日向切支丹屋敷伝

大澤真里 著

「三田文学」春号 5月末発行
定価 1,400円＋税

※「沈黙」の主人公ロドリゴが晩年を過ごした東京・小日向の「切支丹屋敷」を題材に、そこに暮らした日本人女性「はる」の生涯が、小説&ノンフィクション形式で綴られる。多くの資料と、丹念な取材にも裏打ちされた読み応えあるもう一つの『沈黙』。

◆遠藤周作・関連講座

【大学公開講座】

遠藤周作の素顔とその文学

講師 宮島正洋

日時 7月19日(土) 10~12時

会場 関東学院大学・横浜関内キャンパス

受講料 2,000円

※遠藤周作の素顔と、文学的テーマ「人間の悪」を、編集者の視点から語る。遠藤周作は実際に接すると明るだけの人ではなく、その華やかな交遊やユーモアは、黙っていれば沈み込んでゆくような暗い性格ゆえだったかもしれない、と講師は言う。在学中に遠藤周作編集長の「三田文学」で編集者になり、卒業後、新潮社に入って多くの作家たちと出会った講師があかす、作家の隠された素顔。

問合せ先 ☎ 045・786・7892

◆『沈黙』をめぐる特別講座

【教室・オンライン自由講座】

いま、遠藤周作『沈黙』をよむ

講師 加藤宗哉

日時 8月1日(金) 13~14時半

会場 朝日カルチャーセンター新宿
新宿区西新宿2の6の1
新宿住友ビル10階

受講料 会員3,795円
一般4,895円

※『沈黙』刊行からまもなく60年、へ早く書かれ過ぎた」と言われたことの意味を、いま、問い直します。

問合せ先 ☎ 03・33344・1941
Eメール: asaculture01@asaculture.com

◆『会報』の原稿募集

会員の皆さまの原稿を募集しています。1100~1200字(半ページ分)、あるいは2000~2100字(1ページ分)。遠藤周作の人と作品について、あるいは遠藤文学との関わりなど、何でも結構です。

なお、原稿は下記「周作クラブ」宛てに郵送するか、下記Eメール(原稿添付)でお送りください。掲載の際にはご連絡差しあげます。

◆「周作クラブ」会員募集

「周作クラブ」では会員を募集しています。遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみようという方々も大歓迎です。

年会費は3,000円。入会金はありません。年4回発行の「会報」が送られるほか、会が主催する「新年会」「周作忌」「文学セミナー」や遠藤作品の足跡を訪ねる「遠藤文学・原点の旅」、そして「オンライン懇親会」にも参加できます。下記「周作クラブ」まで、ハガキかEメールでお申込みください。折り返し、資料と会費振込用紙をお送りします。

◆編集後記◆

▼私は残念なことに、今年の文学の旅には参加できなかったのだが、楽しく有意義な旅行になったことは、旅行記を読めばよくわかる。幹事、役員、そして参加者の皆様お疲れさまでした。

▼旅行に先立ち行われた文学セミナー。今井さんが最後に言われた遠藤先生との網代へのドライブ、海を見ていた先生の後ろ姿…このように生前の先生をよく知る方からの話を聞くことができる幸せは周作クラブの醍醐味だと感じたセミナーだった。(亀)

▼「遠藤文学・原点の旅」へ参加してきました。旅行会社の誤手配で新たに手にした新幹線の座席は「S Work車両」なるもの。この車両はパソコンなどのモバイル端末を気兼ねなく使え、携帯電話での打ち合わせも座席できるといふものでした。ケガの功名といふべきなのか、「S Work車両」に乗りできてとてもラッキーでした。

▼「周作クラブ長崎読書会」の原稿を読み、早速、本棚から「それ行け狐狸庵」『周作塾』を引っ張り出し再読。マジメでも、ふざけても、他者への思いやり、弱者への温かさは変わらない、遠藤先生の魅力を改めて実感しました。(丸)

「周作クラブ」第99号

2025年6月発行

■編集人 亀岡園子

■副編集人 丸田明利

■編集部 一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、清水優子、杉本佳奈

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17 加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

Eメール Shusaku_club@yahoo.co.jp